

# 1年算数 授業の見所

## 目指す子どもの姿

- ①課題意識や必要感をもって進んで学ぶ子
- ②自分の思いや考えを伝え合い、学び合う子
- ③自らの成長や他者と学ぶ価値を自覚する子

### 1. 目指す姿の明確化【研究内容Ⅰ】

問題を提示した後に、大型テレビを使って問題場面の様子を確認する場面を位置づけました。

話に沿って、「初めに4匹いて」「次に3匹増えて」「その次に2匹増えた」という場面の様子を視覚的に示すことで、既習事項との違いである「2回増えていること」や「3つの数がある」ことを捉え、本時の課題や目指す姿が明確になるよう工夫しました。

### 2. 考えをもたせるための工夫【研究内容Ⅱ】

計算のしかたをブロックを使って考え、全体で交流した後に、ペアの友達とブロックの動かし方を見せ合ったり、図に表したりする活動を設定しました。

ブロックの動かし方を何度も確認したり、図に表したりすることで、問題の場面とブロックの操作を繋げて考え、立式する際の手がかりとなるよう理解を促します。

### 3. 話し合いを促すための工夫【研究内容Ⅱ】

今回の授業では、教師の意図的な発問によって、異なる計算方法を比較検討する場面を設定しました。

① $4+3=7$ 、 $7+2=9$ と② $4+3+2=9$ という計算している内容は同じだけれど、違う式として表れている2つについて、全体で話し合います。2つの考えの違いに気付かせ、それぞれの式になった理由を引き出すことで、それぞれの考えの価値が明確になります。また、本時の学習内容である3つの数を1つの式として表している②について、問題場面の様子を表している良さに気付かせ、計算の手順について児童同士で考えを補足させながら考えをまとめることで理解を深めていきます。

1年生段階においては、「なぜそのように考えたのか?」「もっと詳しく説明してみて。」という問いかけに対して答える児童は少ないため、教師が主導しながら理解を深めることができるようにしました。

### 4. 振り返りシートの活用【研究内容Ⅲ】

「自己評価(三段階)」を書かせる(色を塗らせる)振り返りシートを用いて、学習の到達度を振り返り、できるようになったことを自覚させることができるようにしました。

あらかじめ単元の最初の時間に、大まかな振り返り内容が書かれた振り返りシートを配布し、ノートに張り付けています。毎時間実施することは困難なので、単元において4つの観点全てを網羅し、児童が学びを実感できるような内容を選んで設定しています。

月 日 ( ) 時間目

時間	記録	思ったこと・考えたこと